

# <カリキュラム・マネジメント表の見方>

「資質・能力を確実に育む」ことを大切にしたいカリキュラム・マネジメントを行うために、以下の視点をご覧ください。

◇「目指す子どもの姿」や「資質・能力」を具体的に想定してから、「カリキュラムデザイン」を考える。

⇒ ①-1、②-8、③-3、③-4、④-1、④-2、④-5、④-6

◇「具体的な資質・能力」と「評価対象の資質・能力」の両方を明らかにしてから、「カリキュラムデザイン」を考える。

⇒ ①-3、②-2、②-3、②-4、②-6、②-7、②-9、③-1、③-2、③-5、④-3

◇「カリキュラムデザイン」を先に構想し、なぜそれを行いたいのかを問い返し、「目指す子どもの姿」や「具体的な資質・能力」を明らかにする。

⇒ ①-2、②-1、②-5、④-4

◇「後期に目指す姿、なにができるようになるか」を先に考えて、それを実現させるための前期計画を考える。

⇒ ②-1、②-10、④-3



1 学校重点目標 ①		②		③																					
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」			4. 課題			5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン																	
① 自分の思いを自分なりに表現する子ども								〈手立て〉						〈カリキュラムデザイン〉											
② 友だちと互いのよさを認め合う子ども																									
③ 自ら課題を考え自ら考えたりやりぬく子ども																									
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
内容関連単元						図語(書字) 「横書きの書き方」						図語 「しらせたい」 「見たこと」 算数「たし算」		図工 「いろいろならべて」 算数「ひき算」				算数 「大きい数」				図語 「いいこといふ」 「一年生」			
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	中心単元等(生活・総合等)	<b>単元名「みんななかよし」</b> 1. 課題設定 2年生から来た「?」のたねやビデオカメラをもとに学校生活に探検すること 2. 情報の収集 2年生からの情報をもとに学校探検をする 自分と似た種も育て、年生の様子も日記にまとめる 生長の変化やちがいに気づく、それをもとに3つお話し書かせる 3. 整理・分析 型目の変化を予想し、観察する。 ・色水おそび、たたきおそび、押し紙おそびへの発展 4. まとめ・表現 気づいたことを写真・絵、文章にまとめて発表する						<b>単元名「なつとなかよし、あきとなかよし」</b> 1. 課題設定 あさがおと遊んだ経験をもとに、さつまいもやどくろりなどの身近な自然素材など、たたく遊びにはどうしたらよいか考える 2. 情報の収集 ・秋にふさわめられるものについて調べる ・どこに行けば 秋の素材を見つけられるか、あつちの人に聞いて調べる ・安全に気をつけて、収穫体験をする 3. 整理・分析 いろいろは素材をたたくしなら、自分思いを表現する ・クイズ作りなどを用いて、考えを整理する ・ともだちと協力して、考えたものをつくる (コリントゲーム、やじりべんこま、けん玉、リースなど) 4. まとめ・表現 ・年長さんといっしょに遊び、たたくを工夫する・カードにまとめる ・あつちの人に知らせる(いっしょにおそびする)						<b>単元名「もうすぐ2年生」</b> 1. 課題設定 ・一年間の自分や友だちの成長に気づく 2. 情報の収集 ・写真やカードをもとに、一年間の成長を振り返る ・学ばれたものを振り返る。 (内容や季節に応じて) 3. 整理・分析 ・新一年生に伝えられるよう、内容を整理し、発表する (伝わるような工夫についても考える) 4. まとめ・表現 ・一年間の自分の成長したところや新一年生に伝えたい 学校生活での(いことを文章などに表現し、伝える準備をする。(ICTも積極的に活用する) (個人に、学年で)											
	含む重点取組教科・道徳等																								
	資源	人的物的																							
8. 評価		評価対象の「資質・能力」			評価場面			評価方法			1学期 2学期 3学期			各学期の評価結果(A B C)と総合コメント						9. カリキュラム評価					
①																									
②																									
③																									

小学校第1学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式② 2020 中井)

学校名

作成者

2020.11.30

1 学校重点目標 ① やさしい子・かわわり ② がしこい子・まなび ③ たくましい子・いきがい

2. 目指す子どもの姿	3. 具体的な「資質・能力」	4. 課題	5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン	
① 友達と互いのよさを認め合う子ども	自分の相手の考えの違いに気付く 相手の思いや考えに寄り添って聴く	自分のことだけを話し、相手の話が聞けない。 話の中心、意図を理解できない。	〈手立て〉	〈カリキュラムデザイン〉
② 自分の思いを自分なりに表現する子ども	体験を通して気付いたことを自分なりに話したり書いたりする。	話の中心、意図を理解できない。 話の中心、意図を理解できない。		
③ 自ら考え自ら選んでやりぬく子ども	自分でできること、助けを必要とするものの線引きができる。	困った時に、「先生～困った。」で終わらせず、		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
--	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	内容関連単元												
	中心単元等(生活・総合等)	<b>単元名「どこで何する 学校たんけん」</b> 1. 課題設定 ・小学校と幼稚園や保育園と同じところ、ちがうところは何かと問いかけ、探検への意欲をもち。 2. 情報の収集 ・出会った人が話を聞いたり、見つけたものを絵にかいた。写真にとりまいたりする。 3. 整理・分析 ・お気に入りの靴下から、その部屋の役割りや人の仕事を理解していく。 4. まとめ・表現 ・探検を通じたことをもとに、さまざまな施設を使って、お楽しみ会を企画運営する。				<b>単元名「さつまいもクッキング～目指せ料理名人～」</b> 1. 課題設定 2. 情報の収集 3. 整理・分析 4. まとめ・表現				<b>単元名「大きなたね 1年間」</b> 1. 課題設定 2. 情報の収集 3. 整理・分析 4. まとめ・表現			
	含む重点取組教科・道徳等	・ICT機器を使い、情報を記録する。(写真・タブレット) ・自分の気付いたことを絵や文章を使いかきまじめる。(カード・ドキュメンテーション)											

8. 評価	評価対象の「資質・能力」	評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果(A B C)と総合コメント	9. カリキュラム評価
①	自分と相手の考えの違いに気付く 相手の思いや考えに寄り添って聴くことができる。	活動の場面 授業後の振り返り	観察 振り返りシート・カード					
②	体験を通して気付いたことを自分なりに話したり書いたりすることができる。	活動の場面 授業後の振り返り	観察 振り返りシート・カード					
③								

# 小学校第3学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式① 2020 中井)

学校名 J小学校 作成者

2020.11.30

1. 学校重点目標 ① やさしく		② かしく		③ たくましく		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン											
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」		4. 課題		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン											
①	やさしく					<p>(手立て)                      算元で分けた力を活用する場を                      意図的に取り入れる。</p>						<p>(カリキュラムデザイン)                      ・国語を中核にして社会科など他教科の時間                      とつなぎながら、探究型学習のプロセスを進める。</p>					
②	かしく 自分の考えをもち、進んで伝え、 意図的に学習する子ども。	目的や相手を意識して自分の考えを伝えることができる。	場に応じた話し方に差がある。														
③	たくましく	事実や自分の考えを理由や根拠を示しながら説明することができる。	自分の思いを自分の言葉で伝えられない。														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	内容関連単元					社会「店で働く人」			社会「くらしを守る」			総合発表する					
	中心単元等					「山小屋で三田間すゝめがら」 ・考えを広げる。 ・考えをまとめる。			「はんで意見をまとめよう、 ・目的に応じて共通点や相違点を 考えて話し合う。」			「わたしたちの 学校じまん」 ・相手に伝わるよう に理由や事例 など挙げながら 話の中心が明確 になるように話す ことができる。					
	含む重点取組教科・道徳等					「仕事のくふう見つけたよ」 ・目的に応じて自分に必要 な情報を集めることができる。 ・事実と自分の考えを分けて 書くことができる。			「食べ物のひみつ。教えます」 ・目的に応じた本や調べ方を 選んで、情報を集めることが できる。								
	資質・能力関連					学級活動による話し合い、				伝えたいことを明確にして話す力		話の中心を考えた聞く力					
	資源					スーパーマーケット			消防署 図書室・図書館								
8. 評価		評価対象の「資質・能力」		評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント				9. カリキュラム評価				
①																	
②	目的や相手を意識して自分の考えを伝えることができる。	話し合いの場															
③	事実や自分の考えを理由や根拠を示しながら説明することができる。	話し合いの場															

小学校第4学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式② 2020 中井)

学校名

作成者

2020.11.30

1 学校重点目標 ① 主体的に取り組む、生活を巧みにする ② 思いや考えを伝え合い 互いのよさを認めあう。

2. 目指す子どもの姿	3. 具体的な「資質・能力」	4. 課題	5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン	
① 主体的に生活をよりよくしようと取り組む	担任の人や友だちのよさを把握しながらかたまりができる。	自分だけが「おかわり」がいいと思ってる子どもが多い。	(手立て) 国語の物語単元を中心として、言葉や情景、気持ちの変化などを読みとる活動を通して、自分の感想をもつことが出来る子どもを育てる。さらに、相手の交流を通して、友だちを認めたり	
② 自分の考えをもち根拠や理由を語れる	自分の考えをきき、根拠をもとに説明できる。	思いのきこえが強い。かたまってしまったりもする。	(カリキュラムデザイン) ① 他国の物語文も、関連させ、読み方を学ばせる。 ② 物語を単元を中心とする。 ③ 質問する力、まとめる力、表現する力(他の場面でも)を育てる。 ④ 地域の人材を活用する	
③ 仲間の思いや考えをうけとめ、よさを認め合う	意見や質問、共感的な言葉による話し合いができる。	自分中心のものごとを考える子どもが多い。		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 内容関連単元	国語 白いぼうし					国語 花と羊						

6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	② 中心単元等(生活・総合等)	<p>単元名「<u>一つの花</u>」</p> <p>1. 課題設定 特別に言葉に着目し、作者の思いにせまり、感想をかくことができる。</p> <p>2. 情報の収集 行動を表す言葉、会話、くりかえしつかわれている。</p> <p>3. 整理・分析 言葉をさがす、見つける。言葉をもとに、場面の様子をとらえる、くらべる。</p> <p>4. まとめ・表現 感想を書く。</p>	<p>単元名「<u>ごんぎつね</u>」</p> <p>1. 課題設定 人物や物語に對する感想を書き、交流することができる。</p> <p>2. 情報の収集 気持ちを表す言葉や情景のえがかれ方に気がつけておもしろい。</p> <p>3. 整理・分析 登場人物の気持ちの変化をとらえる。</p> <p>4. まとめ・表現 書いた感想を交流する。(ポスターに感想をまとめる)</p>	<p>単元名「<u>初雪のふり雪</u>」</p> <p>1. 課題設定 感想を交流し、感じ方のちがいを</p> <p>2. 情報の収集 見つけることができる。</p> <p>3. 整理・分析 表現に着目する。どの表現から、何を感じたか話し合う。</p> <p>4. まとめ・表現 交流の中でちがいをまとめる。</p>
	③ 資質・能力関連(資質・能力関連)	<p>質問する力</p> <p>朝の会でのスピーチ (スピーチに對する質問タイム)</p>	<p>まとめる力</p> <p>短歌・俳句など、みじかい言葉の思いをまとめる活動</p>	<p>表現する力</p> <p>ビブリオバトルをやってみよう (お世話の本を紹介して投票)</p>
	④ 人的資源	読めさせの会	NHK for school	QRコード

8. 評価	評価対象の「資質・能力」	評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント	9. カリキュラム評価
①	話し合いの中で、言葉や情景を捉え、伝えたりすることができる。	話し合い	発言内容、ノ					
②	自分への感想を根拠をもち、てかきすることができる。	授業後	ノ、作文					
③	感想を交流し、自分とのちがいに気づくことができる。	話し合い	発言内容、ノ					



小学校第2学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式② 2020 中井)

学校名

作成者

2020.11.30

1. 学校重点目標 ①		②		③		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン											
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」		4. 課題		(手立て)						(カリキュラムデザイン)					
①	進んで学ぶ子ども	集めた材料を順序よく整理し考えることができる。		情報収集・活用する力を高めたい。													
②	伝え合う子ども	絵や写真などを使って分かりやすくまとめることができる。		相手意識をもって伝える力を高めたい。													
③	おもしろく取り組む子ども	順序を表す言葉を使い、実際に使うことができる。		仲間と協力して学習に取り組む態度を向上させたい。													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内容関連単元		道徳 ・かんじのしりとり 生活科 ・1年生となかよし	生活科 ・春と見つけお ・野菜を育てよう	国語 ・かんじのなごころ 算数 ・長さを比べよう				生活科 ・くふうはかせん おもちゃ作り				算数 ・長いもの長いものたし 体育 ・おにぎりに					
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン		<b>単元名「たんぽぽのちえ」</b> 1. 課題設定 順序がわかる言葉に気をつけて読むことができる。 2. 情報の収集 草花のちえについて書かれた本を読む。 3. 整理・分析 たんぽぽと似ているところ、違いに気づく。 4. まとめ・表現 ちえ、わけ、思ったことをカードにまとめる。			<b>単元名「馬のおもちゃの作り方」</b> 1. 課題設定 説明の仕方に気をつけて読むことができる。 2. 情報の収集 図書館の本やインターネットから、おもちゃの作り方を調べる。 3. 整理・分析 文章の組み立てや、作り方とどんな順序で説明するかを考える。 4. まとめ・表現 自分で説明書を書く。			<b>単元名「おにぎりに」</b> 1. 課題設定 大事なことばに気をつけて読み、分かったことを知らせることができる。 2. 情報の収集 図書館の本、インターネット、インタビューで調べる。 3. 整理・分析 調べたことをメモする。 4. まとめ・表現 遊び方を説明する。									
含む重点取組教科・道徳等		ICT活用 ・パソコン ・タブレット 国語 ・図書館 たんけん			国語 ・メモをとるとき						国語 ・本の調べ方						
資源		火田の先生 (種、苗植え)			水やり (草)			収穫			収穫			おうちの人			
8. 評価		評価対象の「資質・能力」		評価場面		評価方法		1学期		2学期		3学期		各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント		9. カリキュラム評価	
①	相手や目的を意識して集めた材料を順序よく整理し考えることができる。		製作している場面		ワークシート、カード 説明書												
②	絵や写真などを使って分かりやすくまとめることができる。		製作している場面		説明書												
③	順序を表す言葉を使い、実際に使うことができる。		製作している場面 発表会		カード、説明書												



# 小学校第3学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式② 2020 中井)

学校名

作成者 ②-5

2020.11.30

1 学校重点目標 ①		②		③									
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」		4. 課題									
①		根拠や理由を明確にした考えを持ち、説明できる。 友だちの考えを認め合うことができる。											
②		理解											
③													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン		<p>内容関連単元</p> <p>中心単元等 (生活・総合等)</p> <p>含む重点取組教科・道徳等</p> <p>資源 人的物的</p>		<p>単元名「わり算のしかたを考えよう」</p> <p>1. 課題設定 ・場面をイメージしやすい問題の提示。</p> <p>2. 情報の収集 ・既習事項をばかす</p> <p>3. 整理・分析 ・様々な解き方を理解する。</p> <p>4. まとめ・表現</p>		<p>単元名「四角形の特性を調べよう」</p> <p>1. 課題設定</p> <p>2. 情報の収集</p> <p>3. 整理・分析 ・四角形の特性にもとづいた、自分なりの作図をさせる。 ・友だちの考えを聞くとき、相違点に気づく。</p> <p>4. まとめ・表現</p>		<p>単元名「広さの表し方を考えよう」</p> <p>1. 課題設定</p> <p>2. 情報の収集</p> <p>3. 整理・分析 ・友だちの考えを理解し、認め合う。</p> <p>4. まとめ・表現 ・様々な解き方について筋立てて説明させる</p>					
8. 評価		評価対象の「資質・能力」		評価場面		評価方法		1学期 2学期 3学期		各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント		9. カリキュラム評価	
①	具体物を使っておしなやかに根拠を明確にして説明することができる。		図や言葉で筋立てて説明することができる。		友だちの考えを理解し、認め合うふり返り		ノート、発表						
②													
③													



# 小学校第 / 学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式①・2020 中井)

3-17

学校名

作成者

2020.11.30

1. 学校重点目標		① 進んで学ぶ子ども		② 豊かに表現する子ども		③							
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」		4. 課題		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン							
①	自分で課題を見つけ、自分の見方・考えをもとに課題を解決しようとする子ども	自分の見方・考えをもとに課題を解決しようとしている	課題が自分ごとになって、自ら取り組んでいる	(手立て) 単元計画を子どもが共有し、概観的に 内容を把握し提示する。 目的を話し、言葉に、何のテーマに、 何を伝えるのかを明確にする。		(カリキュラムデザイン) 国語を中核として、話す・書く学習を中心 単元に立て進める。 朝や帰りの会でのスピーチ活動を続けていく。							
	②	様々な場面で積極的に自分の思いや考えを伝え、伝えようとする子ども	自分の思いや考えを伝えようとする									相手意識をもった伝え方がある	
	③												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	内容関連単元												
	中心単元等 (生活・総合等)		もと知り合い、友だちのこと				班で意見をまとめる				山下先生の学校のじまん		
	含む重点取組教科・道徳等	<知・技> 矢印のヒントをヒントに考えをまとめることができる <思・判・表> どの物にも質問するよ、よって考える				<知・技> 言葉の整理をする <思・判・表> 意見を整理して発表できるようにする				<知・技> 聞き手を見て話すことができる 声の調子や強弱を工夫する <思・判・表> 伝えたいことの理由や資料を選ぶ			
	資源	質問 ・どんな種類の質問があるか ・どんな質問がよいか	聞き手 ・視線 ・反応			話し手の役割 ・どんな役割があるか	司会の役割 ・出し意見を整理	理由	メモの取方	資料の集め ・どこ ・何 ・どうやって	組み立てて 考える	目的や相対 明確にする	
8. 評価	評価対象の「資質・能力」		評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント				9. カリキュラム評価	
①	自分の見方・考えをもとに課題解決に自分ごとになっている		授業中	観察・小テスト									
②	自分の思いや考えを伝えようとする伝え方がある		授業中	発言・観察									
③													



小学校第2学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式① 2020 中井)

学校名

作成者

②-9

2020. 11. 30

1. 学校重点目標 ①		②		③													
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」		4. 課題		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン											
						〈手立て〉						〈カリキュラムデザイン〉					
①	「できる、分かる」を表現し、学びを自分のものとする子	「話す」を通じて学びを深める子	「根拠」理由を明確にしなから話すことにならなくては	「根拠」理由を明確にしなから話すことにならなくては	「根拠」理由を明確にしなから話すことにならなくては												
②	より良いものを求め、協働的に学び、豊かに表現する子	「友達のよさ」を認め、協力することができ、より良いものを求めることができる。	「友達のよさ」を認め、協力することができ、より良いものを求めることができる。	「友達のよさ」を認め、協力することができ、より良いものを求めることができる。	「友達のよさ」を認め、協力することができ、より良いものを求めることができる。												
③	学びを広げ、くらしを楽しむ子	「調べる」ことを明確にして、目的に合った分類や整理のしかたを考えることができる。	「調べる」ことを明確にして、目的に合った分類や整理のしかたを考えることができる。	「調べる」ことを明確にして、目的に合った分類や整理のしかたを考えることができる。	「調べる」ことを明確にして、目的に合った分類や整理のしかたを考えることができる。												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	内容関連単元			生活「わたしのまち、発見！」 ◎「ふけんで見つけたことを教えよう」					生活「作る楽しい発見」 ◎おもちゃを作って1年生にプレゼントしよう!								
	中心単元等 (国語・総合)			書く「こんなもの見つけたよ」 ◎思考力、判断力、表現力等 探検で自分が見つけてきたものの中から知らせたいことを明確にして、メモや絵や表を併せて、作文にまとめることができる。					読む 説明文「馬のおもちゃの作り方」 書く 自分のおもちゃの作り方を教えよう。 ◎まとめ、表現力、思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にして、図や絵などを交差的に用いて、説明書にまとめることができる。				書く「できごとや出来事をつたえよう」 ◎整理、分析 ＜思考力、判断力、表現力等＞ 友達のよさを見つけて手紙にまとめ、自分もそのよさを耳に入れていこうとする気持ちを育つことができる。				
	含む重点取組教科・資質・能力関連・道徳等			道徳「見つけたよ」 ◎伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度													
	資源			地域の施設 お店						インターネット 「作りおもちゃ」							
8. 評価		評価対象の「資質・能力」		評価場面		評価方法		1学期 2学期 3学期		各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント						9. カリキュラム評価	
①	伝えたいことを明確にしなから考えたいことを聞かずに話すことができる。		授業ごとに		観察 (学内、学外)		ノート										
②	自他の違いのよさを認め、協力し、より良いものを求めることができる。		授業終末		ふり返り												
③	調べたいことを明確にして、目的に合った分類や整理のしかたを考えることができる。		授業ごとに		観察		プリント、ノート										

# 小学校第3学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式① 2020 中井)

学校名

作成者

②-10

2020.11.30

1. 学校重点目標 ①		②				③			5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン					
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」				4. 課題			5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン					
									〈手立て〉			〈カリキュラムデザイン〉		
①		◎ 比較や分類の仕方、必要な語句の書留め方法や表の荒味を理解し、まとめることができる。												
②		◎ 相対目的を意識し、集めた材料を分類し、整理し、利用することも適切に伝えたいことを筋道立てて考えることができる。												
③		◎ 調べたいことを明確にし、目的に合わせた分類や整理の工夫を考へていく。												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	内容関連単元								<社会> 社会の人とわたしのくらし ・ 調べ表現 ・ 新聞づくりをする ・ インタビューをもとに伝えたいことを明確にしている ・ 写真や絵を効果的に新聞にまとめることができる。					
	中心単元等 (生活・総合等)								単元「すがたをかえる大豆」 食べ物のひみつを教えよう。	<国語> 単元「ありの行列」				
	含む重点取組教科・道徳等								・ 調べ表現 ・ 読み物を読んで、自分の感想を書くことができる。	◎ 調べ表現 ②. 自分と同じところやちがうところがあるのを見つけてながら、聞くことができる ①. 構成・骨格・表現などを確かめながら、感想を書くことができる。				
	資源 人的物的													
8. 評価		評価対象の「資質・能力」			評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント			9. カリキュラム評価	
①														
②														
③														

感想を持つことができる。

単元「すがたをかえる大豆」  
食べ物のひみつを教えよう。  
・ 調べ表現  
・ 読み物を読んで、自分の感想を書くことができる。

<国語>  
単元「ありの行列」  
◎ 調べ表現  
②. 自分と同じところやちがうところがあるのを見つけてながら、聞くことができる  
①. 構成・骨格・表現などを確かめながら、感想を書くことができる。

# 小学校第3学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式② 2020 中井)

学校名

作成者 ③ - 1

2020.11.30

1. 学校重点目標 ① 自ら学ぶ準備をする子ども ②		③										
2. 目指す子どもの姿	3. 具体的な「資質・能力」	4. 課題	5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン									
① 自ら学びの準備をする子ども	学習活動や探究活動を通して、課題解決の過程を体験し、自ら学ぶ意欲を高める。	課題解決の過程を通して、自ら学ぶ意欲を高める。	〈手立て〉 〈カリキュラムデザイン〉									
② 地域への関心をもち、自ら学ぶ意欲を高める子ども	探究的学習活動を通して、地域のよさを発見し、地域への関心を高める。	自分の住む地域に関心をもち、自ら学ぶ意欲を高める。										
③	地域のよさを発見し、地域への関心を高める。	生活科・国語科で学習した内容を活用し、地域への関心を高める。										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容関連単元	社会科 (学校生活のなかの地図記号)	国語科 (お礼の手紙)	理科 社会 自然観察									
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	<b>単元名「〇〇地区：地域①の調べよう！(探検)</b> 1. 課題設定 〇〇地区の調べよう！(探検)とは？ 〇〇地区の調べよう！(探検)とは？ 2. 情報の収集 ・地区・学区探検(グループ別)。 ・地区の方から話を聞く。取材(インタビュー)。 3. 整理・分析 収集した情報を大まかに地図に整理しよう。 4. まとめ・表現 〇〇地区の地図を作ろう。掲示しよう。			<b>単元名「〇〇地区：地域②の調べよう！(探検)</b> 1. 課題設定 〇〇地区の調べよう！(探検)とは？ 〇〇地区の調べよう！(探検)とは？ 2. 情報の収集 ・地区・学区探検(グループ別)。 ・地区の方から話を聞く。取材(インタビュー)。 3. 整理・分析 収集した情報を整理しよう。 4. まとめ・表現 〇〇地区の調べよう！(探検)を作ろう。掲示しよう。			<b>単元名「〇〇地区：地域③の調べよう！(探検)</b> 1. 課題設定 〇〇地区の調べよう！(探検)とは？ 〇〇地区の調べよう！(探検)とは？ 2. 情報の収集 ・地区・学区探検(グループ別)。 ・地区の方から話を聞く。取材(インタビュー)。 3. 整理・分析 収集した情報を整理しよう。 4. まとめ・表現 〇〇地区の調べよう！(探検)を作ろう。掲示しよう。					
	含む重点取組教科・道徳等	社会科の学習事項(地区探検)を活用する。	表現力(手紙)									
	資源	Google Map. テレビ(地域の方)	公民館、お茶会施設、工場など									
8. 評価	評価対象の「資質・能力」	評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果(A B C)と総合コメント			9. カリキュラム評価		
①	探究事項や経験を通して、課題解決の計画を立てる。	導入時、討論	観察、対話									
②	探究活動を通して、課題解決の過程を体験し、自ら学ぶ意欲を高める。	授業後	振り返り									
③	地域のよさを発見し、地域への関心を高める。	授業後	振り返り、地図									

# 小学校第6学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式③ 2020 中井)

学校名

作成者 ③-2

2020.11.30

1. 学校重点目標		① 深く学ぶ子		② よくつながる子		③ 地域を愛する子		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン																	
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」				4. 課題				〈手立て〉				〈カリキュラムデザイン〉											
①	理由や根拠をもち、構に筋道立てて伝える子ども	理由や根拠を明らかにして考えをまとめ表現できる				論理的に説明することができない児童がいる。				〈手立て〉				〈カリキュラムデザイン〉											
	②	相手の考えや思いを受け取められる子ども	関心と対人関係力の向上				相手を意識した表現ができない。																		
		地域のためにできることを考え、実行できる子ども	地域に愛着をもち、地域に積極的に貢献できる				地域とふれ合う機会がない。																		
③	地域のためにできることを考え、実行できる子ども	地域に愛着をもち、地域に積極的に貢献できる				地域とふれ合う機会がない。																			
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
内容関連単元				社会 公民分野																					
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	課題: ○○地区を盛り上げよう																								
	課題設定 地区のよさや魅力 課題について話し合う						情報収集 ・地域の人に聞く ・データを調べる ・卒業生に聞く						整理・分析 ・よさと課題に整理しまとめる ・ICTの活用						表現・まとめ ・地域の人への発信 ・市や町への提案 ・プレゼンテーションの作成						
	課題設定						情報収集						整理・分析						表現・まとめ						
	課題設定						情報収集						整理・分析						表現・まとめ						
含む重点取組教科等		国語 対話的な学び合いを 進めながら		国語 インターネットの 学習		国語 報告文の 書き方																			
資源																									
8. 評価		評価対象の「資質・能力」				評価場面		評価方法		1学期 2学期 3学期			各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント						9. カリキュラム評価						
①	理由や根拠を用いながら考えをまとめ表現できる				授業中		観察																		
					授業後		ノートチェック																		
②	関心と対人関係力の向上 自分の考えを認め、相手を受け入れることができる				授業中		観察																		
					日常生活		観察																		
③	地域に愛着をもち、地域に積極的に貢献できる 地域のよさに気づき、発信できる				授業中		観察																		
					プレゼン場面		児童の記録ノート																		



# 小学校第3学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式② 2020 中井)

学校名

作成者 ③-3

2020.11.30

1. 学校重点目標 ① 心豊かで思いやりのある子ども ② 自ら考え互いに学び合う子ども ③ 心身ともに健康でがんば強い子ども													
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」			4. 課題			5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン					
①	友達を大切にし、思いやりのある行動をする子供	意見や質問、感情的な言葉による理詰めの話し合いができる。	協働してよりよい考えや作品を創ることが出来る。									〈手立て〉	〈カリキュラムデザイン〉
②	話をよく聞き、よく考える子供	課題解決のために情報収集する事が出来る。	集めた情報をもとめて、わかりやすく伝えられる。										
③	元気で活動し、めあてをもつ。未知なる子供に意欲的に取り組む。	自分でめあてもつた。その解決にむけて取り組む事が出来る。	ふり返りから、次の課題を見出す事が出来る。										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内容関連単元				社会 農家の仕事								
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	中心単元等 (生活・総合等)	<b>単元名「大宮の室をさがそう」</b> 1. 課題設定 2. 情報の収集 地域の方の話をきき、地域、地域の室について情報を集める。 3. 整理・分析 イバトミヨについて詳しく整理・分析していき、その価値について知っていく。 4. まとめ・表現 イバトミヨについて関心したことを発表しよう。			<b>単元名「アップル大作戦」</b> 1. 課題設定 2. 情報の収集 教えていたことや体験したことをポスターやおりにまとめる。 3. 整理・分析 地域の人から得た情報やポスターから、りんご作りと地域との結びつきについて理解を深める。 4. まとめ・表現 次の学年に育て方を伝える。(わかりやすい表現) お世話になった地域の人に感謝の気持ちを伝える。			<b>単元名「 」</b> 1. 課題設定 2. 情報の収集 3. 整理・分析 4. まとめ・表現					
	含む重点取組教科・道徳等			社会 市の様子、市内の他の小学校にもイバトミヨについて知らせよう。協働的学習でクイズを作る。	国語 報告書文								
	資源 人的 物的	地域の人、イバトミヨ保存会の植松先生	4年生から世話の先生	市内の小中学生	保護者、百姓寺子屋			最上環境フォーラムの水質検査出張作業					
8. 評価	評価対象の「資質・能力」	評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント				9. カリキュラム評価		
①													
②													
③													

# 小学校第4学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式② 2020 中井)

学校名

作成者 ③-4

2020.11.30

1. 学校重点目標 ①		②		③													
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」		4. 課題		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン											
①	課題解決の見通しをもち、進んで取り組む子ども	身につけた知識や技能を学習や生活に活かすことができる。				〈手立て〉 ・3年生の国語「すがたをかえる大豆」との関連を図る。						(カリキュラムデザイン)					
②	自他のよさと違いを認め合える子ども	根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することができる。															
③	地域よさを見つけ、ふるさとに愛着をもつ子ども	地域のよさを見つけ、そのよさを発信することができる。															
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内容関連単元																	
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン		<p style="text-align: right;">「表現活動」としての位置づけ</p>															
中心単元等(生活・総合等)		<b>単元名「大豆を育てよう」</b> 1. 課題設定 おいしい大豆をたくさん育てるにはどうすればよいか。 2. 情報の収集 名人へのインタビュー、本、インターネット、JA、家族(聞き取り) 3. 整理・分析 収集した情報を伝え合い、共有し、比較検証する。 4. まとめ・表現 ポートフォリオの活用、個人新聞で振り返る。				<b>単元名「大豆を使って〇〇をつくろう」</b> 1. 課題設定 大豆を使ってどんな物が作れるだろう。 2. 情報の収集 お店の取材、本、インターネット、JA、家族、試作 3. 整理・分析(スーパー見学) ①大豆を使った料理をつくってみる。 それぞれの情報を持ち寄り、話し合う。 4. まとめ・表現 レシピ、リーフレット等				<b>単元名「大豆の変身コンテスト」</b> 1. 課題設定 大豆のおいさを伝えよう。 2. 情報の収集 アンケートをとる、スーパー、クックパッド 3. 整理・分析 料理本 それぞれの情報を持ち寄り話し合う。 4. まとめ・表現 プレゼンの仕方を学び、お世話になった人へお礼を伝える。							
含む重点取組教科・道徳等		情報収集能力 インタビュー	ICT活用能力	新聞の作り方	理科 観察力 (植物の生長)	整理・分析 課題設定	ICT活用能力	紹介文の書き方 説明書の書き方					分析能力 (アンケート集計) 算数 グラフの書き方 集計方法	ICT活用	プレゼンテーション能力 まとめ		
資源		地域の方 JAの方	タブレット			地域のお店 JAの方						PC,	← (PC操作指導講師)				
8. 評価		評価対象の「資質・能力」	評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント				9. カリキュラム評価					
①																	
②																	
③																	



1. 学校重点目標 ①		②		③																			
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」		4. 課題		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン						〈手立て〉						〈カリキュラムデザイン〉					
①	課題をもち 問題を解決を図る生徒	①課題を見出す力 ②情報を見分けよ力																					
②	自ら学習に取り 組む生徒	①主体性 ②学ぶ喜びを味わう力																					
③	自分のよさと仲間 のよさを認めあう生徒	①自分のよさに気付く ②仲間のよさに気付く																					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
内容関連単元		数学 正負の数	英語 自己紹介	道徳 郷土愛	社会 日本の気候		学芸 地域に 根ざした仕事				社会 世界の山の 日本		数学 統計										
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン		中心単元等(生活・総合等) 単元名「 <u>地域を知ろう。</u> 」 1. 課題設定 地域の良さを発見しよう。 2. 情報の収集 身近な人の仕事調べ(インタビュー) 地域の文化財や歴史を収集する。 3. 整理・分析 4. まとめ・表現 新聞作り, 発表(ポスター)			単元名「 <u>道徳学習で将来を考へよう。</u> 」 1. 課題設定 職業講話で視野を広げる。 2. 情報の収集 多くの仕事。 3. 整理・分析 データ集約。 4. まとめ・表現 パソコンでまとめ, 冊子を作る。			単元名「 <u>自分の将来を考へよう。</u> 」 1. 課題設定 適性を知り, 進路や職業を考へよう。 2. 情報の収集 進路適性検査 3. 整理・分析 データを分析する 4. まとめ・表現 自己紹介ポスターにまとめる。															
含む重点取組教科・道徳等		国語)	英語)	学芸)	社会)	道徳)						学芸)											
資質・能力関連		伝わり力	自分のよさを 知る力	多岐多 面的な道 徳力	データの活用 力						国語の よさを 知る力												
人的物的 資源																							
8. 評価		評価対象の「資質・能力」		評価場面		評価方法		1学期 2学期 3学期		各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント						9. カリキュラム評価							
①																							
②																							
③																							



# 中学校第2学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式③ 2020 中井)

学校名

作成者

④-3

2020.11.30

1 学校重点目標 ① いのちを大切に ② 絆を深め ③ 学び続ける生徒 ~チーム平和学習~

2. 目指す子どもの姿	3. 具体的な「資質・能力」	4. 課題	5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン
① 平和を愛し、生命の尊厳を大切にして、自分の生き方を大切にして、健康でたくましく生き抜く能力を身に付けた生徒。	「取組む」集めた情報を取捨選択し、解説し、課題解決の道筋を作る。	情報の精選ができていない。 知識をつなぎ合わせる技能が不十分。	(手立て)  (カリキュラムデザイン)
② 地域への絆、人への絆を大切にし、豊かな心とコミュニケーション力を身に付けた生徒。	伝える、根拠を基に課題解決のプロセスを表現する。(話す、書く、描く)		"平和"で貫く
③ 豊物を愛し、人の絆を大切にして、自らを高め、自己実現に向けて学び続ける生徒。	気づく、他者や資料などから大切な情報を気づく。	メモをとるが、関係を取りがてできない。 JICAを利用した情報収集、時間がかかる。	

6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	4月												5月												6月												7月												8月												9月												10月												11月												12月												1月												2月												3月											
	内容関連単元												中心単元等(生活・総合等)												資質・能力関連												資源																																																																																																											
	道徳 「安達峰- 静」 SH												音楽 大地讃詠の歌と詩												英語 戦争、原爆に関する読み物												数学 広島のデータを作る												社会 戦争に向かう状況												国・技・家・美 ハワホの使いこなし デザイン -ゲルニカ																																																																																			
	課題 修学旅行で広島に行く、広島ですることを考える。												課題設定 ・大地讃詠を学ばせ、広島を学ばせ、安達峰- 静の心を伝える。 ・安達峰- 静の心を世界に伝える。												情報収集 ・歌詞の読み取り、解説のディスカッション ・地域の人やWeb、小学校の資料集から安達峰- 静の情報を取り出す。												整理・分析 ・読み取った内容やディスカッションした情報を精選する。 ・伝える内容を、そのデザインにする。												表現・まとめ ・大地讃詠の解説詩の解説。 ・安達峰- 静のレポート。																																																																																															
	音読の音量・構造の理解												気づく ① 内容を読む力 音の強弱 ② 正確に理解する												資料館 ・JICA職員@重根 ・今を活躍する山田人のインタビュー												取組む ① 創造・論理的 ② 多面的・多角的な思考 ③ データの活用 ④ データを基にした表現の技能												伝える ① 創造・論理的 ② 多面的・多角的な思考 ③ 音楽文化への愛着の多様性 ④ 絆を愛する																																																																																															

8. 評価	評価対象の「資質・能力」	評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント	9. カリキュラム評価
①	集めた情報の取捨選択ができて、健康でたくましく生き抜くことができる。							
②	自分のプランをペアグループで話し合える。 相手の住むデザインで作品を表現する。							
③	資料から必要な情報を取り出す。 他者との対話から大切な情報を取り出す。							

中学校第2学年 年間カリキュラム・マネジメント表 (基本様式③ 2020 中井)

学校名

作成者

2020.11.30

1. 学校重点目標 ①		②		③									
2. 目指す子どもの姿		3. 具体的な「資質・能力」		4. 課題		5. 題解決の手立てとカリキュラムデザイン (手立て) (カリキュラムデザイン)							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6. 目標達成のためのカリキュラムデザイン	内容関連単元				国:感謝の手紙 作ら (状況の調査)					数:企業のカ (平面図形)	英:町紹介		
	中心単元等 (生活・総合等)	職場体験に関わって						広がり、深まり				修学旅行の学習	
	含む重点取組教科等	課題「 <u>キャリアデザイン</u> を通して労働や職業について考える。							課題 <u>日本の中心で、山形県の豊かについて考える。</u> (3年の修学旅行入)				
資源					整理・分析 消費者として感じていた 比、働き手として感じた 比など、立場の違い で気付いたことを挙げる。 体験を通して感じた ことについてアンケート調査 を行い、データを収集し、 グラフにまとめる。	表現・まとめ 保護者の方に向け、 体験を通して 学んだことを、 プレゼンテーション ソフトを活用して 発表する。			課題設定 ・大テーマをもとに、 各組で進めたい テーマを設定する。 (政治、経済、国際 交流、歴史など) ・山形の魅力を 世界のの人に発信しよう。	情報収集 ・各組のテーマに係わる 訪問先をインターネット を活用して調査する。 ・訪問したい企業にメール をとり、事前に質問を 送ったりする。 ・外国の文化に伝えた山形 の魅力を調査、取り上げる。	整理・分析 ・質問内容をとりまとめ して、質問の優先順位を 考える。 ・山形の魅力として、 特に伝えたい内容を 選択し、情報を精選する。	表現・まとめ (保護者の方に向け、 体験を通して 学んだことを、 プレゼンテーショ ンソフトを活用して 発表する。)	
人的物的		国「場の状況に応じて 言葉と表現を工夫する力」		数「データの活用力」 社「多面的・多角的 な思考力」 国「情報の信頼性と 信頼性を見極める力」		国「情報を整理し、 内容を検討する力」	国「場の状況に応じて 課題を解決する力」			(修学旅行で、実際に 見学したり、資料を入手 したりする。)	国「論理・展開を 考えて構成を 工夫する力」		
8. 評価	評価対象の「資質・能力」	評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント				9. カリキュラム評価		
①													
②													
③													





1. 学校教育目標 挨拶が飛び交い 腫かがやく 爽やかな A 中学生の育成	<目指す生徒像> ◇瞳を輝かせ、主体的に粘り強く学ぶ生徒を育てる (知) ◇自他を大切にし、社会貢献を意識し誠実に行動できる生徒を育てる (徳) ◇あたりまえのことが自然にできる自律的な生徒を育てる (体)	<育成を目指す資質・能力> ①自ら判断し主体的に行動する力 ②目標に向かい粘り強く取り組み、やり抜く力 ③他者を理解するとともに協働課題解決する力 ④自分の思いや考えを確実に伝える力 ⑤情報を収集し分析する力 ⑥自らの生き方、将来を考える力 ⑦地域を大切に思い、地域活動に参加する態度	学校研究テーマ 『互いに学び合い、高め合う生徒の育成』 ～「主体的に学びに取り組む態度」を育てる授業と学習評価のあり方～ <目指す生徒像(育てたい力)> (1)学習課題の解決に向けて、主体的にねばり強く学習に取り組もうとする生徒。 ◇自ら進んで課題を見つけ、主体的に学びに向かおうとする力 ◇課題を主体的に探究しようとする力 (2)学び合いを通して、他者と共感的に関わりあい、考えをより深め、広げ、高める生徒 ◇共に学ぶ力 ◇コミュニケーション力 ◇プレゼンテーション力(提案力・表現力)
--	--	---	---

学校テーマ『共生』 1学年テーマ『地域を知る』 Search for Asahi ～朝日町を知る～ 重点(学習の基盤となる資質・能力)『自分の思いや考えを確実に伝える力』

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
他教科との関連 (総合へのアプローチ) 理科 4～5月 「花のつくりかた」 道徳 4月 「郷土愛」	美術 5月～7月 風景画 単元名『故郷の美しさを絵で表現しよう』			美術 9月～10月 単元名『レタリング』	美術 10/8(木)1-1 単元名『なっとく仏像ワールド』 資質・能力①③④	英語 10/22(木)1-2 単元名『道案内をしよう』 資質・能力 ①③④	英語 11月 単元名『Webで学校紹介』	英語 11/27(金)1-1 単元名『一日の生活』 資質・能力	英語 11月～12月 単元名『1日の生活』		
中心とする教科 総合的な学習の時間 (きらめきタイム)	探究プロジェクト 探究の日 探究レポート	りんご探究プロジェクト りんご栽培体験学習 りんご探究活動	「情報の収集・分析」 ①タカラモノ/ガタリ ②第6次総合発展計画	「調査・研究」 ①テーマ別ガイドダンス ②個人テーマの決定 ③個人テーマの探究	探究の日に向けた準備 ①探究場所の選定(4テーマ)	探究の日 ①探究レポートの作成 ②探究報告書の作成	「まとめ」 ①探究レポートの作成 ②探究報告書の作成	「まとめ・表現」 ①探究レポートの作成と表現 ②探究報告書の完成	Carrier Start Project ①パスカルをもとに将来を考える ②職業について考え、探究する ③職業講話 ④自分の将来について深く考える	「学びの振り返り」 ①個人のまとめ・整理 ②個人としての発表	
含む重点取組教科・道徳等											
資源 人的 物的	企業 JA 道の駅 りんご農家	くぬぎ平の棚田農家(在職など)									

8. 評価	評価対象の「資質・能力」	評価場面	評価方法	1学期	2学期	3学期	各学期の評価結果 (A B C) と総合コメント	9. カリキュラム評価
①								
②								
③								